

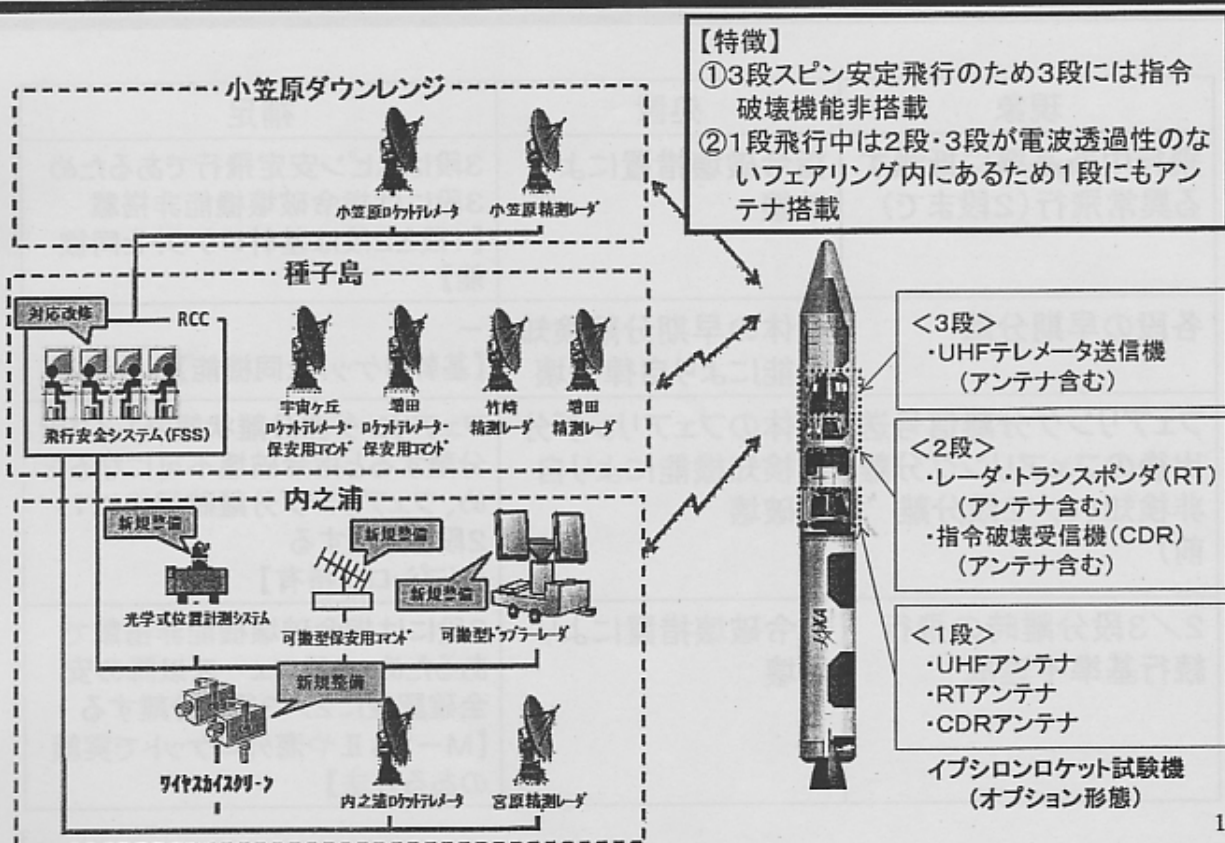
イプシロンロケット 飛行安全システムについて

平成25年4月8日

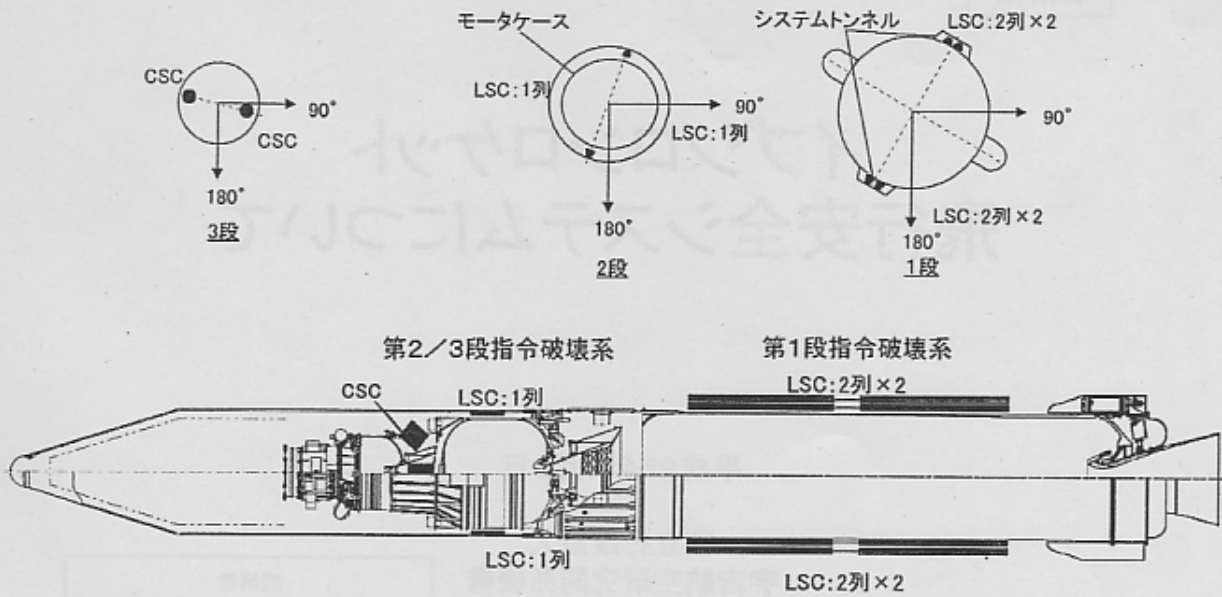
独立行政法人
宇宙航空研究開発機構

説明者
宇宙輸送ミッション本部 イプシロンロケットプロジェクトチーム
プロジェクトマネージャ 森田 泰弘

1. 飛行安全システム全般



2. 指令破壊用火工品



【指令破壊系火工品と搭載数】

- <1段>V型成形爆破線(LSC):8本
- <2段>V型成形爆破線(LSC):2本
- <3段>円錐型成形爆薬(CSC):2個(搭載は2段側)

2

3. 飛行安全を確保するための処置

現象	処置	補足
飛行中断基準に抵触する異常飛行(2段まで)	指令破壊措置により破壊	3段はスピン安定飛行であるため3段には指令破壊機能非搭載【1段と2段は基幹ロケットと同機能】
各段の早期分離	機体の早期分離検知機能により自律破壊	— 【基幹ロケットと同機能】
フェアリング分離信号送出後のフェアリング分離非検知(1/2段分離前)	機体のフェアリング分離検知機能により自律破壊	フェアリング非分離状態で1/2段分離すると指令破壊不可になるため、フェアリング分離確認後に1/2段を分離する【イプシロン特有】
2/3段分離時の飛行続行基準不達成	指令破壊措置により破壊	3段には指令破壊機能非搭載であるため、3段フェーズ以降の安全確認後に2/3段を分離する【M-3S II や海外ロケットで実績のある方法】

3

